

ADSL モデム
(OKI BR10A-C2H)
ファームウェアアップデートガイド

第 2 版 2003 年 7 月 1 日

関西ブロードバンド株式会社

本設定ガイドでご操作いただく内容

ご案内

お客様がご利用を開始されたのち、性能向上や問題点改善を目的とした、ADSLモデムのファームウェア書換えが必要となる場合があります。この一連の書換え操作を、「ファームウェアのアップデート」といいます。

もくじ

1.ファームウェアのアップデート	1
ファームウェアアップデート前の準備作業	1
ファームウェアをサーバからダウンロード	2
モデムのファームウェアをアップデート	3
装置の初期化	6
ADSL モデムの再起動と再起動完了	6
2.ファームウェア故障時の状態	7
ファームウェア故障時の状態	7
3.ファームウェアの修復方法	8
Windows 版 Internet Explorer で復旧操作を行う場合	8
<手順1>パソコンの設定	8
<手順2>ftp接続	10
<手順3>修復の確認	11

1.ファームウェアのアップデート

ファームウェアアップデート前の準備作業

FTP クライアントツールの準備

不測の事態(書換え中の停電等)によって、ファームウェアのアップデートに失敗した場合、ADSL モデムが正常に動作しなくなる場合があります。その場合、ファームウェアを修復する為に、FTP クライアントツールが必要となります。

- FTP クライアントツールがインストールされていない場合
 - アップデートを行う前に準備(ダウンロード及びインストール)してください。
- OS が Windows の場合
 - Internet Explorer のバージョンが 5.0 以降であれば FTP クライアントツールを有しております。
この場合、FTP クライアントツールを別途ご用意頂く必要はございません。
 - Internet Explorer のバージョンが 5.0 未満の場合は、Microsoft 様の Windows Update より最新版の Internet Explorer をインストールする事が可能です。Windows Update の詳細につきましてはパソコンメーカーもしくは Microsoft 様にご相談ください。

ファームウェア故障時の復旧手順確認

事前に本ガイド 7 ページより掲載しております「ファームウェア故障の場合」をごらんいただき、故障時のモデム状態と復旧手順をご確認ください。



【 注 意 】

- ファームウェアのアップデート作業中に、ADSL モデムの電源が切断された場合やデータ受信中に回線を切断した場合には、ADSL モデムが正常に動作しなくなる場合があります。
作業は必ず、本書の内容に従って実施されることをお願いいたします。
- 作業をはじめる前に、ADSL モデムの PWR 端子に、電源アダプタのケーブルが確実に差込まれていること、および電源アダプタが電源コンセントに確実に差込まれていることを確認してから作業を実施することをお勧めします。

ファームウェアをサーバからダウンロード

ファームウェアのダウンロード

以下の弊社ホームページURLよりファームウェアのダウンロードを行い、適当なフォルダに保存をしてください。

[関西ブロードバンド ADSL モデムサポートページ]

<http://www.kansai-bb.com/modem/>

ダウンロードしたファームウェアのファイル容量を確認

ダウンロードしたファイルの容量が上記URLで案内している容量と同一であることをご確認ください。



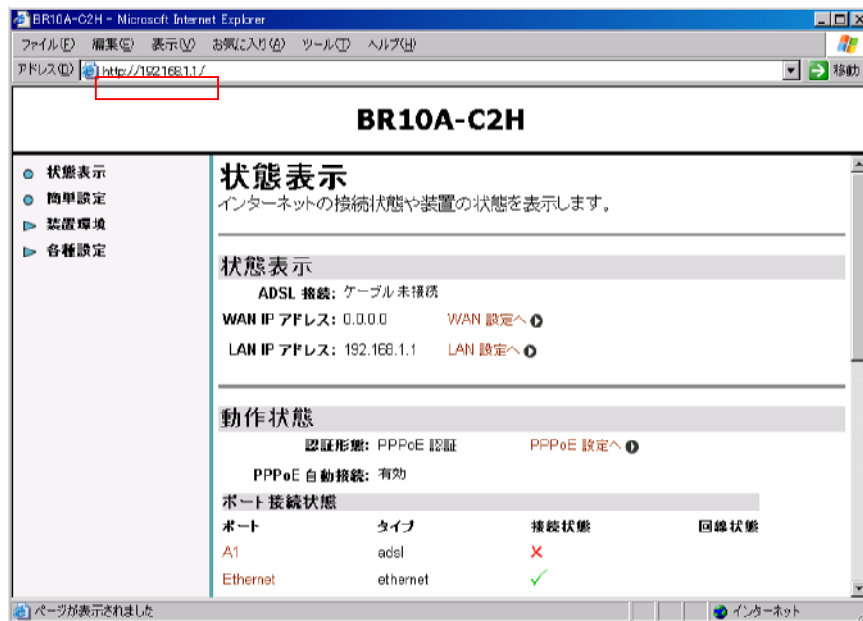
【 注 意 】

これより先の作業につきましては、ADSL モデムの背面「ADSL」コネクタから、モジュラーケーブルを抜いてください。
アップデート作業をより確実に行うためにお勧めします。

モデムのファームウェアをアップデート

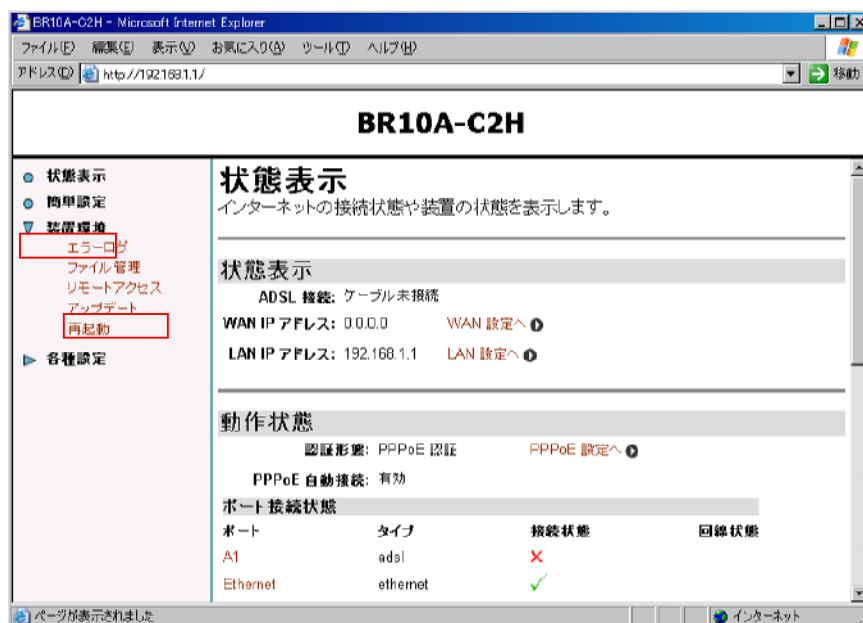
Web 設定画面の表示

ブラウザを起動し ADSL モデム (http://192.168.1.1) にアクセスします。



「アップデート」メニューの選択

左メニューの[装置環境]の中にある[アップデート]を選択してください。



設定の認証

「ネットワークパスワードの入力」画面が開きましたら、下記のユーザ名とパスワードと入

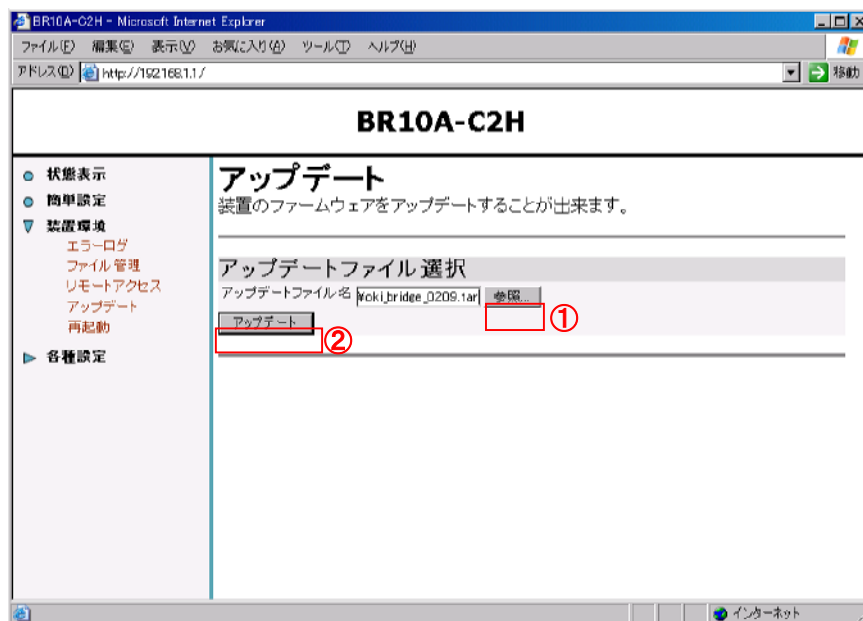
力して「OK」ボタンをクリックしてください。



ファームウェアバージョン	02.02 または 02.18RK	02.09
ユーザ名	admin	admin
パスワード	admin	kaT5q2So106xf8W

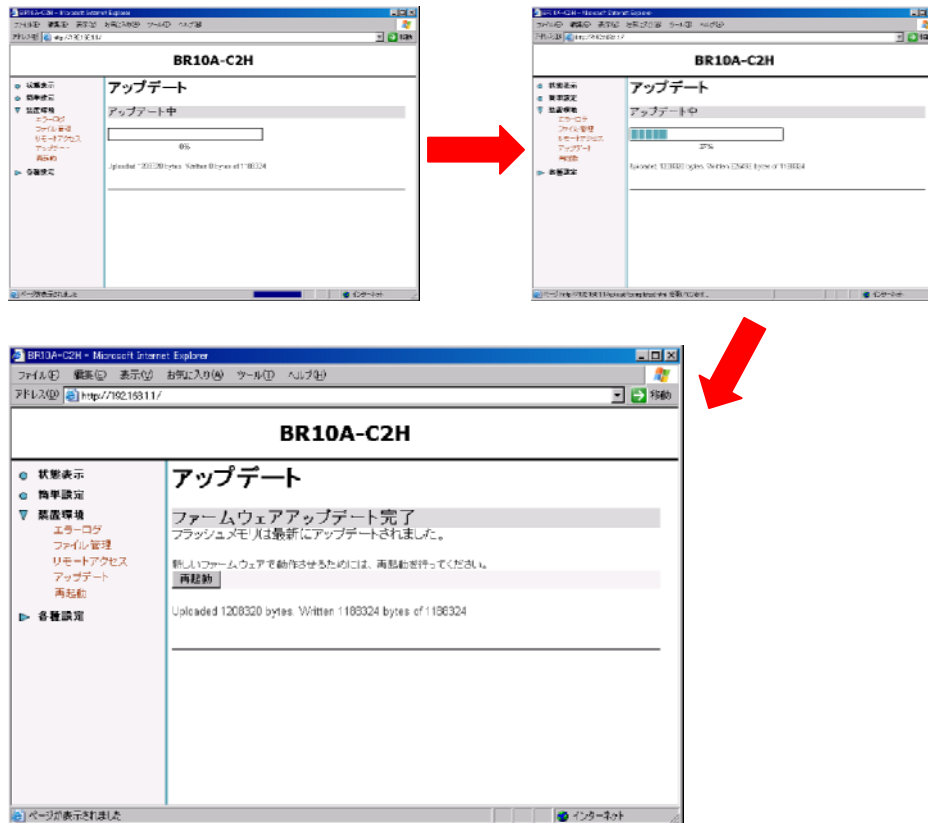
アップデートファイルの選択

[参照]ボタンをクリックし、ダウンロードしたアップデート用のファームウェアを選択し、[開く]ボタンを押下してください。[アップデートファイル名]欄に選択したディレクトリおよびファイル名が表示されます。



アップデート開始

[アップデート]ボタンをクリックしてください。下図のような画面に切り替わります。
アップデート中はプログレスバー(緑色)が 100%に向かってのびていきます。
約 2 分でアップデートが完了します。



上図のように「ファームウェアアップデート完了」が表示されましたら、モデム本体に対し、ファームウェアが読み込まれた状態となります。



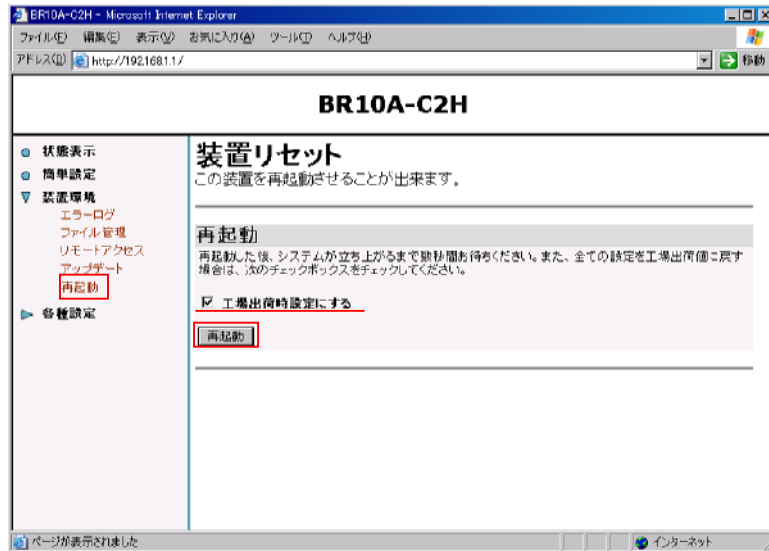
【 注 意 】

アップデート中はアップデート作業を行っているブラウザのウィンドウを閉じる、装置の電源を OFF にする、LAN ケーブルを抜くなどのアップデート作業を中止する操作は行わないでください。
装置故障の原因になります。

装置の初期化

左側メニューの[装置環境]-[再起動]をクリックしてください。

「装置リセット」の画面となりますので、「工場出荷時設定にする」にチェックマークを付け、「再起動」のボタンを押下してください。



ADSL モデムの再起動と再起動完了

ADSL モデムが再起動を始めます。再起動中は ADSL ルータのランプが以下の動作をします。

1. 「DIAG」, 「WAN」, 「LAN」のランプが数回点滅後、消灯します。
2. その後、「DIAG」のランプが点滅します。(LAN にパソコンが接続されていると「LAN」ランプは点灯しています。)

※ 再起動中は「PWR」のランプは点灯状態のままです。再起動には約 30 秒かかります。

3. 「DIAG」ランプが点滅状態になれば、再起動は完了です。再度、左側メニュー[状態表示]をクリックし、ウィンドウを最下部までプルダウンしてください。
4. 「装置状態」-「バージョン」でバージョンがダウンロードされましたバージョンと一致しますことをご確認ください。



【 注 意 】

正常に終了するまでは、絶対に電源を OFF にしないでください。

なお、ブラウザの画面では再起動中のまま、もしくは「ページが表示できません」などの表示となりますので、ADSL モデムのランプ状況で判断してください。

2.ファームウェア故障時の状態

ファームウェア故障時の状態

設定保存時の電源断、またはファームウェアのバージョンアップの失敗等により、ファームウェアが破壊された場合、ADSLモデムは次のような状態になります。

ファームウェア故障時の LED(モデムランプ)状態

ランプ名称	状態
DIAG	橙点滅 (1秒間に4回の非常に早い点滅)
WAN	緑点滅 (間隔は「DIAG」ランプと同じで、「DIAG」ランプと同時に点灯・滅灯を繰り返します。)
LAN	緑点灯
PWR	緑点灯

Web 設定画面の表示

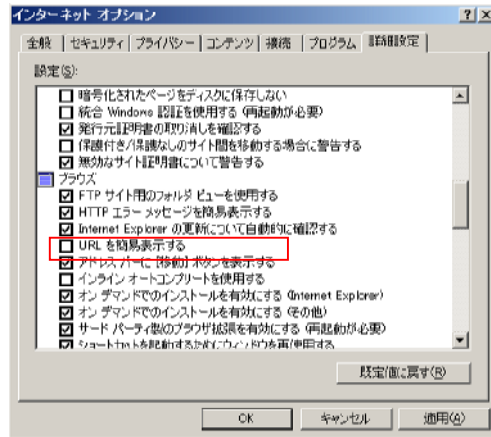


Web 画面の表示は行えません。(ADSL モデム用および外部 Web 双方)
 次ページの「<手順1>パソコンの設定」を行ったのち、ADSL モデム設定を行う際の <http://192.168.1.1/> を開いた場合は、左図のように表示されます。

3.ファームウェアの修復方法

Windows 版 Internet Explorer で復旧操作を行う場合

Internet Explorer5.0 以上のバージョンでファームウェア復旧を行う場合は、Internet Explorer の設定は「ツール」－「インターネットオプション」－「詳細設定」の「ブラウズ」－「FTP サイト用フォルダビューを使用する」のチェックを ON にして下さい。



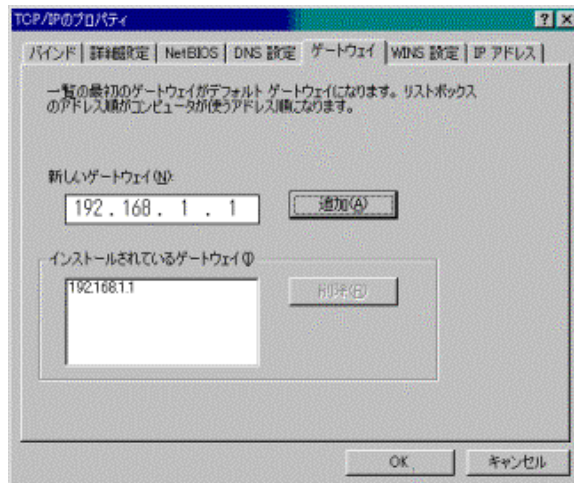
<手順 1>パソコンの設定

パソコンの設定を変更します。変更内容は、DHCP クライアントから IP 固定モードへの変更作業です。(ADSL モデムのファームウェアが破壊されているため、DHCP サーバを使用することができないための変更です。)

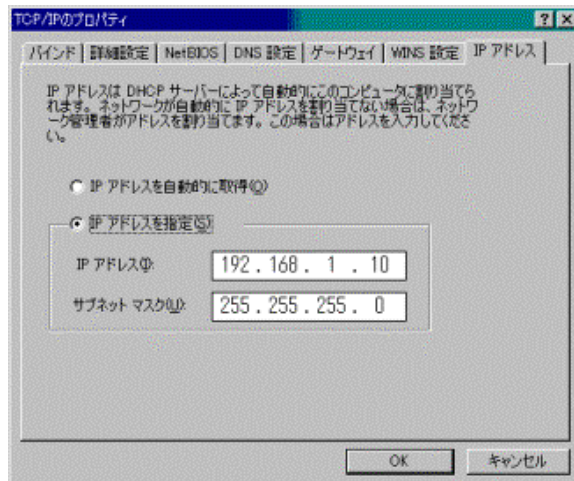
設定内容	
IP アドレス	192.168.1.10
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1

参考に Windows98/Me と Windows2000/XP での設定画面を次ページに掲載します。

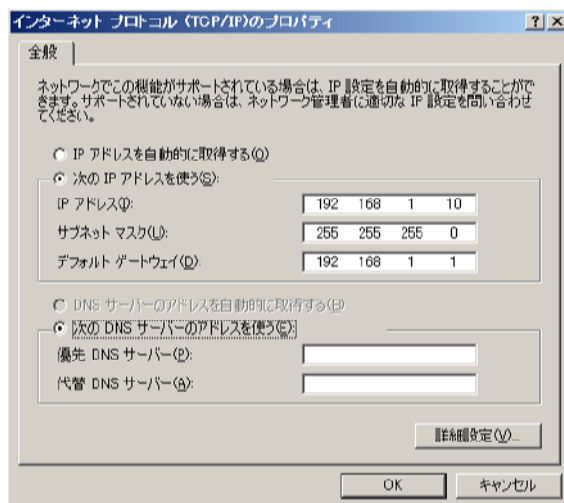
Windows98 デフォルトゲートウェイの設定例



Windows98 IP アドレス・サブネットマスクの設定例



Windows2000/XP 設定例



※本作業では DNS を使用しませんので、優先 DNS サーバーと代替 DNS サーバーは空欄となります。

<手順 2> f t p 接続

FTP クライアントツールもしくは Internet Explorer を起動し、アドレスに「ftp://192.168.1.1」と入力してください。

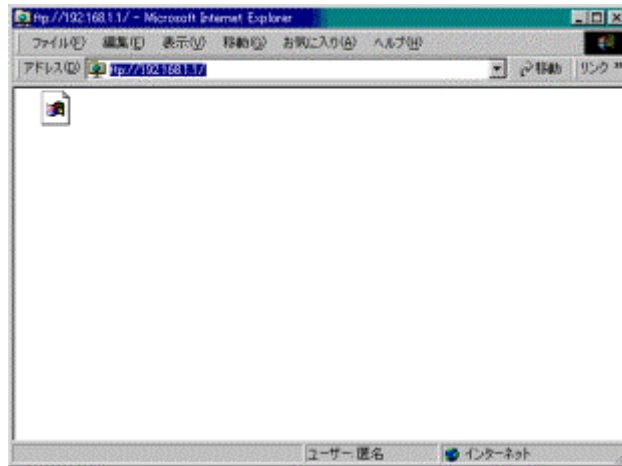
(注意:ADSL モデムの設定を行う際の http://192.168.1.1/ ではアクセスできません。Internet Explorer の場合は 5.0 以上のバージョンをご使用ください。)

FTP クライアントツールの場合

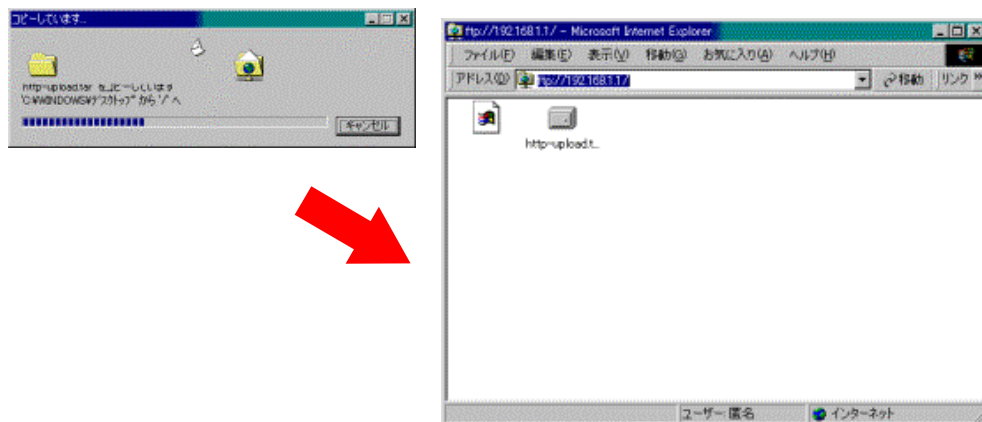
開きましたフォルダに ADSL モデムファームウェア (ダウンロードして頂いたファイル) のアップロード作業を行ってください。このあとは自動的に作業が進みます。

Internet Explorer の場合

ftp://192.168.1.1/ にアクセスしますと下図のような画面が表示されます。



この画面に ADSL モデムファームウェア (ダウンロードして頂いたファイル) をドラッグもしくはコピー & ペースト (貼り付け) してください。このあとは自動的に作業が進みます。

作業中 (自動作業) の流れ**1. ファイルのコピー (上記画面)**

コピーが完了するまでの間、「DIAG」「WAN」ランプは消灯します。

(「LAN」「PWR」ランプは緑点灯のままです。)

2. ファイルの修復

約30秒かかります。この間「DIAG」「WAN」ランプが交互に点灯・消灯します。
点滅の間隔は1秒間に約4回です。

3. 装置の再起動

「DIAG」「WAN」「LAN」ランプが同時に数回点滅し、一旦消灯します。このとき
「PWR」ランプは緑点灯のままです。
ここから先は通常に電源を投入した場合と同じ動作をします。

<手順3>修復の確認

手順1～手順2で、ファイルの修復は完了しています。手順3では、修復の確認を行います。ADSL モデム設定画面(<http://192.168.1.1/>)が見られることを確認してください。

上記が確認できましたら、修復は完了となります。
(過去に設定された内容は全て消去されています。)